



鈴 蘭



鈴 蘭 第11号

発行者 青木 伸弘
 編集 「鈴 蘭」編集委員会
 〒763-8507
 香川県丸亀市津森町219番地
 TEL (0877) 23-5555
 FAX (0877) 23-6200
<http://jyujin-mmcc.jp>
 題 字 青木 伸弘

院長就任のご挨拶ならびに新年のご挨拶

まるがめ医療センター

病院長 鎌野 周平



新年おめでとうございます。讃岐富士に初日が昇り、丸亀城の高い石垣が初日に照らされ輝く新年を迎えました。旧年中は「麻田総合病院」改め「まるがめ医療センター」を御利用いただきまして誠にありがとうございました。職員一同厚く御礼申し上げますとともに、新年を迎えまして地域の皆様のお守りするために、職員一同新たな決意で皆様にご奉仕申し上げます。丸亀市は名門京極家が治めた城を中心に、市内には古い社寺仏閣が残る美しい城下町です。その歴史のある地域の皆様に70余年の間御愛顧いただいた「麻田総合病院」でしたが、地域の皆様に今まで以上に親しんでいただくため個人名を廃止して「まるがめ医療センター」と改名させていただきました。昨年9月1日に新たにスタートしました。そして10月1日に私が院長に就任させていただきました。長いお付き合いになります。思いますので、新生「まるがめ医療センター」とともにどうぞ宜しくお願い申し上げます。

「まるがめ医療センター」は、近隣の岡山大学・広島大学・川崎医科大学および香川大学から専門医を派遣していただいております。CT・MRI・内視鏡等の診断装置を備える認可病床数300床の総合病院です。しかし残念ながら昨今の医師不足のため常勤医師数が少なく、マンパワー不足でICUに入室するような重症度の高い疾患の治療には向いていません。

幸い丸亀市のある中讃医療圏には、香川労災病院や四国こどもとおとなの医療センターという大勢の常勤医を持つ公的な大きな病院があります。重症度の高い疾患は香川労災病院と四国こどもとおとなの医療センターにお願いするとしても、ある程度の救急患者は引き受けなければ大きな病院の先生たちは疲弊してしまいます。現在前述の近隣の大学や縁故の医療機関にお願いして、外科系医師を中心に常勤医師獲得を行っており救急医療の拡充を目指しています。

地域の大きな病院の御負担を減らすと同時に、「まるがめ医療センター」は病床のない医師会の先生方の患者様の疾患が増悪して入院が必要になった場合、患者様をお預かりして入院で治療させていただくことも「まるがめ医療センター」の大きな役割です。そして患者様が良くなれば医師会の先生方もとにお返しします。そのためには「まるがめ医療センター」の常勤医師の多

くが医師会の活動に参加して各々の専門分野をアピールして、医師会の先生方とお互いに顔の見える関係“を築き信頼される関係にならなければなりません。こういう風に「まるがめ医療センター」は大きな病院と医師会の先生方の間に位置して、敷居が低くて小回りの利く病院を目指しています。

これからの「まるがめ医療センター」は、中讃地区の他の医療機関と競合するのではなく、救急医療を拡充して大きな病院の負担を減らすと同時に、地域の先生方や御施設様の御要望にもお応えできるように進化しようとしています。70余年の間地域の皆様の御健康を守り続けた「麻田総合病院」は、更に皆様にとって身近な「まるがめ医療センター」になろうとしています。新生「まるがめ医療センター」にますますの御愛顧を宜しくお願い申し上げます。

謹賀新年

旧年中のご厚情を深謝すると共に、本年も変わらぬご指導をお願い申し上げます。

平成三十年 元旦

医療法人社団 重仁

まるがめ医療センター

- 理事長 青木伸弘
- 副理事長 佐藤靖郎
- 病院長 鎌野周平
- 事務長 伊藤基光
- 他 職員一同

新しい年を新しい病院名で迎えることになりました。
 今年も皆様とのご縁を大切に、皆様の笑顔を大切に
 日々努力して参りますのでよろしくお願い致します。



リハビリテーション科 藏本 翼
 リハビリの仕事を始め丸7年が経過しようとしています。経験を積む一方で、病院内の他職種の方々との仕事内容を知っていくにつれ、関係している皆様のおかげでリハビリ業務が円滑に行なえているということに、日々気づかされています。そのことに感謝しながら、これからも業務に努めて参ります。

医事課 高嶋 奈美香

去年の10月に23回目の誕生日を迎え年女になりました。また、外来の事務員としてこの病院に就職して2年が経ちました。いろいろな事を学べた年になったと思います。今年は去年よりたくさんの方で成長出来る様に努力して取り組んでいきたいと思ひます。

栄養科 加嶋 稚香

年々月日が流れるのを早く感じるようになり、気付けば再び年女となる歳になりました。苦手分野や新しいことを学ぶことが疎かになり、管理栄養士として力不足を痛感する毎日です。今年こそ、ひとつでも成長したなと実感できる一年にしたいと思ひます。

健診科 野宮 知里

入職して7年目を迎えました。健診科の事務員として様々な受診者様に接し、健診の難しさを学んでいます。常に受診者様の目線に立って、思いやりの心を忘れず、向上心を持って頑張っていきたいと思ひます。皆様もぜひ、当院で健診を受けてみてください!!



検査科 片山 真紗子

入職して2年目がはや終わろうとしています。まだまだ自身の知識や技量の足りなさを痛感する毎日です。いま主に携わっている検体検査について「深めて」いくのはもちろんのこと、生理検査や健診でもルーチン業務を任せてもらえる技師になるべく「広げて」いく年にもしたいと考えています。ご迷惑をおかけする場面も多いかと思ひますが、どうぞよろしくお願い致します。

検査科 松田 有未

昨年は早く職場に慣れることと業務を覚えることに必死な年でした。初めはすごく緊張して不安なこともたくさんありましたが、職員の皆様方に温かく受け入れて頂き今は毎日楽しく過ごしています。今年も昨年より余裕がでてくると思うので色々な分野の勉強や技術面のスキルアップに頑張っていきたいと思ひます。

施設課 大空 和明

優しく楽しい先輩に教えて頂きながら、日々新しい業務に挑戦しています。今年目標は、昨年より技術や知識を増やしていくことです。より良い仕事が出来るといふことから努力してまいります。

看護部 小野 雅司

当院へ入院した際、まさか就職させて頂くようになるとは思ってもみませんでした。これからもまた何かの縁だと思ひます。これからも日々、患者様との縁を大切に、初心を忘れずに頑張りたいと思ひます。



地域医療連携室 長尾 久美

去年は学生から社会人になり環境がガラッと変わった年でした。医療の現場に飛び込み、慣れない日々の中、多くのことを学ばせて頂いております。今後もソーシャルワーカーとして常に福祉の心を忘れず、患者様と接していきたいです。もう一人の年男である上司と共に、連携室を盛り上げていきます。

通所リハビリ 神原 翼

通所リハビリテーションまるがめに勤務しております。今年の目標は多くの知識を身に付け、仕事をさらに覚えることです。まだまだ未熟なところも多いですが、職場の皆様や利用者様の優しい笑顔に支えられていきます。今年も根気強さと笑顔忘れず、実りある一年にしたいと思ひます。

看護部 田中 麻鈴

当院に就職して3年目になります。整形外科病棟に勤務しています。まだまだ知識は未熟ですがこれから患者様の支えになれるよう日々努力していきたいです。今年も笑顔を忘れずに頑張ります!!



看護部 濱田 京子

昨年は業務内容の変更があり、覚えることも盛りだくさんの一年でした。今年も新しく身に付けた知識を生かし、一つ一つの業務を丁寧に行い日々精進していきたいと思います。

正月明けの食事について

管理栄養士 松下 春香

年末年始、忘年会やお正月でつい食べすぎたり飲みすぎたりした結果、「正月太り」になってしまう人はいませんか?せっかくのお休みやお祝い事なので、たまには思い切り羽を伸ばしても構わないと思います。その代わり、「食べすぎた、飲みすぎた」と思った後は「リセット期間」を設け、いつもより食事の量や内容に気を遣ってみましょう。



まず、野菜やきのこ、海藻類を積極的に摂りましょう。低カロリーで、不足しがちな食物繊維を豊富に含み、糖質の吸収を緩やかにして急な血糖値の上昇を防ぎます。また、脂肪の吸収を抑えたり、腸の調子をを整えたりする働きもあります。さらに、野菜に含まれるカリウムには余分な塩分を排泄し、血圧を下げる働きもあるため、血圧が高めの方、塩分の多い料理を食べすぎてしまった方にもお勧めです。

また、肝臓を休ませ、大豆製品や魚介類などの良質なたんぱく質を摂りましょう。肝臓はアルコールを分解し、解毒をする唯一の臓器です。お酒を控えたり、バランスのとれた食事をしたりすることで、肝臓を休ませてあげましょう。

増えた体重を元に戻すために、ただ食べる量を減らすだけでは、空腹感を感じストレスに繋がります。食事の内容を少し変え、しっかり食べながら体重をコントロールしていきましょう。

医師紹介



外科 戸嶋 俊明

10月より毎週月曜日の外科病棟回診、外来を担当させていただいております。平成19年卒の戸嶋俊明と申します。平成29年3月に大学での研究生生活を終え、現在岡山大学病院消化管外科にて下部消化管(大腸)を専門に外科診療を行っております。少しでもまるがめ医療センターの患者様、職員の方々のお力添えになればと思っております。出身は岡山市の南区で、私が小学生の時に瀬戸大橋が完成し、幼少時より瀬戸大橋が大好きでした。その憧れの瀬戸大橋を毎週渡って出勤させていただいております。



神経内科 野中 和香子

平成29年4月より月曜日午後の神経内科外来を担当させていただいております。野中 和香子と申します。私は平成25年に鳥取大学を卒業し、以降は鳥取県で勤務していましたが、香川県の方とご縁があり、結婚を機に平成29年4月より香川県に参りました。普段は香川大学神経内科で診療に携わっております。神経内科はどのようなことをしているのかイメージがわきにくい診療科かもしれませんが、脳や神経、筋肉に異常がある病気を診ています。物忘れや歩きにくい、ふらつくなどの症状でお困りの際には、当科にご相談いただければと思います。まだまだ未熟者で皆様には迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、頑張つて参りますので今後どうぞ宜しくお願い致します。

連携室だよ

今年もメンバー一同、最高の笑顔で皆様のお手伝いをいたします。お気軽に地域医療連携室へお声掛けください。今回の連携室たよりは、病院外での活動報告です。

地域医療・福祉に関する活動への参加について

私たち医療ソーシャルワーカーは、地域の医療機関や介護関連事業所、行政等との連絡調整を強化し、密な地域医療介護連携体制を構築するため、様々な地域活動に参加しています。

超高齢社会を迎え、住民が住み慣れた地域で安心して生活できるよう地域包括ケアシステムを構築すべく、自治体ごとに準備が行われています。丸亀市では、行政と丸亀市医師会が連携し医療と介護の職種がスムーズな情報交換が行えるよう、多職種連携研修会「まるるの会」が開催されており、その企画委員として協力しています。



他の取り組みとして、認知症患者と家族が地域で安心して過ごせる居場所を作り、介護を担う家族支援の充実を目的に、患者や家族、地域住民やサポーター、医療・介護・福祉の専門職が効果的な出会いができる場を提供するため、認知症カフェ「にじいろカフェ」が開催されています。私は城乾コミュニティ開催分(にじいろカフェ城乾)毎月第三日曜14時に医療機関の社会福祉士として参加しています。

今年も、様々な研修や活動に参加し、鼻を利かせて地域のニーズを捉え地域福祉の充実に貢献したいと思っております。MSW 山本 真也

ICT エピソード②



今回はインフルエンザの「日常生活でできる予防法」について少々お話しします。

- ① **栄養と休養を十分取る**
食事は栄養バランスを考えてお召上がりください。忙しい現代人ですが、睡眠時間だけでも十分な時間を確保しましょう。抵抗力を高められ感染しにくくなります。
- ② **適度な温度、湿度を保つ**
ウイルスは低温、低湿を好みます。乾燥しているとウイルスが長時間空気中を漂います。加湿器などで適度な湿度(50~60%)に保ちましょう。
- ③ **手洗いとマスクの着用**
インフルエンザが流行してきたら外出する際はマスクを着用しましょう。咳やくしゃみの飛沫から感染を防ぎます。手洗いは接触による感染を防ぐ効果があるので、外出から帰宅後や食事の前など頻回に行いましょう。但し手荒れは効果が低下するので、手荒れ予防にも注意して下さい。
- ④ **人ごみ避ける**
病原体であるウイルスを寄せ付けないようにしましょう。
- ⑤ **水分を補給する**
のどの乾燥を防ぎ、抵抗力を高められます。
- ⑥ **予防接種**
それでもインフルエンザにかかったかもしれない方は、早めに医師の診断を受けるようにしましょう。重症化しないことも大切です。

参考にしてね!



インフルエンザにかからないために、毎日できることを紹介しよう!

講演会のお知らせ

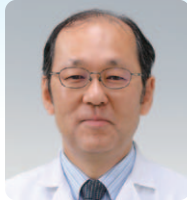
最新の消化器がん治療

—安全で安心、そして新しい外科治療—

日時 1月27日(土) 14:00~15:30

場所 まるがめ医療センター
7階大ホール

演者 岡山大学大学院
医歯薬学総合研究科
消化器外科学教授
藤原 俊義先生



お申し込み・お問合わせは
まるがめ医療センター 総務課まで
TEL 0877-23-5555

職場長の夢



地域医療連携室
課長 西川 真智子

養できる環境を選択することができ、看護師が中心となり支援を行っています。退院支援を行う上で連携に必要な院内の他職種との情報共有や支援に当たってのゴールの共有、役割分担、その進行状況を確認しながら目標に向かって協力しながら実践しています。今後、2018年に診療報酬改定の方針案として、医療機能の分化・連携強化の推進・在宅医療・医療と介護の連携等が検討されており、地域連携室の役割も多様化し重要となってきました。スタッフ個々が役割を再認識し他職種連携を取りながら業務遂行に努力して参ります。

地域連携室が当院に設置され5年経過します。現在前方支援を事務職・看護師の担当、後方支援をMSWで役割を明確にし協力体制を取りながら業務を行っています。基幹病院からの転医紹介時には必ず事前訪問を行い患者様の状態・入院前のADL・IADL、退院時の準備等の情報を得て、転医後でも安心して入院治療継続ができるよう努力しています。また外来・転医の患者様が治療後に安心して地域で療養できるようにMSW・退院支援

互助会の旅行に参加しました

10月8日快晴のなか、高知旅行に出発。海を見ながらかつおのたたきを食べる…つもりが、海を泳いでいる姿のまま大きなカツオが出てきてちょっとびっくり。地元の漁師さん指導の下料理し、わりに火を付け立ち上る炎で豪快に炙り、カツオのたたき完成！海を見ながら食べるカツオのたたきの味は格別でした。

その後今度は高知の山の奥深くへ。キャンプ場でせせらぎの音を聞きながら炭火でバームクーヘン作りに挑戦。混ぜた材料を、棒に塗っては焼き塗っては焼き、皆真剣に生地の高さや焼き加減を見て、完成したバームクーヘンの切り口を見た時は感動。みんなで楽しく作っておいしく食べた1日でした。



カツオのわら焼き体験



バームクーヘン作りに挑戦

キャンプ場でせせらぎの音を聞きながら炭火でバームクーヘン作りに挑戦。混ぜた材料を、棒に塗っては焼き塗っては焼き、皆真剣に生地の高さや焼き加減を見て、完成したバームクーヘンの切り口を見た時は感動。みんなで楽しく作っておいしく食べた1日でした。高橋 亜紀子



10月15日、第一回「ふれあい祭り」が開催されました。秋晴れを願う職員の前日届かず、残念ながら当日はあいにくの天候。しかし、そんな悪天候をも吹き飛ばすかのように総勢500名近くの方々にご参加いただき、お祭りは大・大盛況でした。

「相談コーナー」で医師や薬剤師に相談をしたり、看護師や検査技師、リハスタッフによる「体験コーナー」では骨密度・血糖・ロコモ度測定をしたり…、お祭りの名のごとく、職員と地域の方が「ふれあい」ながら貴重な楽しいひとときを過ごせました。その他にもフリーマーケットや屋台、マジックショーやフラダンスショーなど、イベントが盛りだくさん！たくさんの明るい笑顔に出あえた、素敵な1日となりました。

2017年 忘年会

12月21日、ホテルアネシス瀬戸大橋にて開催された忘年会。美味しい食事に楽しい余興、そして年々パワーアップするお楽しみ



抽選会と、終始大いに盛り上がり、2017年を締めくくるにふさわしい会となりました。2018年、更なる飛躍の年となるよう祈念し、笑顔で幕を閉じました。



スタッフリレー Vol.8



氏名 浪越 美津希
所属部署 地域医療連携室 MSW

前回 中西さんからの質問

Q 小さいころの夢は何ですか？

A 小学校の先生だったような気がします

私から「あの方」への質問 今この職種以外でなりたいか？ 職業はありますか？

中西副師長からたすきを預かりました、ソーシャルワーカーの浪越です。今は時短勤務をさせて頂いていることもあり皆さんにご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、日々精進を重ね患者様やご家族様に寄り添える支援ができるように心掛けています。よろしくお祈りします。今年冬は冬の訪れが早く、また厳しいように感じます。10代の頃から没頭してきたスノーボードですが、ここ数年はほとんど行けておらず、冬は物足りなさを感じる季節になってしまいました。今年冬は雪が多いことを期待して、数年前のウェアやボードを引っ張り出し、気持ちとは裏腹に重くなった腰を上げ是非行ってみようと思います。次はいつも爽やかな笑顔のあの方へたすきを繋ぎたいと思います。

編集後記

人は信念とともに若く、疑惑とともに老いる。人は自信とともに若く、恐怖とともに老いる。希望のある限り若く、失望とともに老いる。希望とともに老いる。(サムエル・ジョンソン)
今年も、「信念と希望」を膨らまし、若さで「換骨奪胎」頑張りましょう。
加藤 繁秋

換骨奪胎
古いものに新しい要素を入れて再生したり、生まれ変わることをリイノベーション